

九州学

第20回 別府大学文化財セミナー

大航海時代



と

鹿児島

基調講演

「大航海時代の鹿児島－島津氏と大友氏と種子島－」

別府大学教授 飯沼賢司

研究発表

・万之瀬川下流域の中世遺跡と東アジア

(株)九州文化財研究所 宮下貴浩

・尚古集成館所蔵の大砲と鉛同位体比分析

別府大学准教授 上野淳也

・大航海時代と焼酎の伝来

別府大学教授 米元俊一

シンポジウム

「大航海時代と鹿児島」

コーディネーター

(公財)鹿児島県埋蔵文化財調査センター 中村和美

2016年10月30日(日)

10:30~16:00 (受付 10:00~)

天文館ビジョンホール8Fホール

〒892-0842 鹿児島県鹿児島市東千石町13番3号 VISIONBILD
(鹿児島中央駅より市電、市バスで約7分、天文館停留所を降りて1分)
099-292-8500 (代表)

周辺に駐車場が多数あります。(当ビルに駐車場はございません)

[主催・問い合わせ先] 別府大学文化財研究所

〒874-0915 別府市桜ヶ丘 5-2

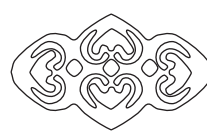
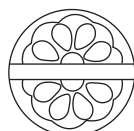
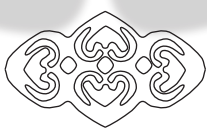
TEL:0977-27-6116/FAX:0977-27-6117

[共催] 別府大学同窓会・別府大学同窓会鹿児島県支部会

[後援] 鹿児島県教育委員会・鹿児島市教育委員会・

尚古集成館・(株)九州文化財研究所

入場無料!



第20回 別府大学文化財セミナー 大航海時代と鹿児島

別府大学文化財研究所では、わが国の歴史が世界史に組み込まれた「大航海時代」をテーマに公開講座を実施してきた。これまで、①「大航海時代と日本」（別府大学）、②「大航海時代と豊後府内」（大分市）、③「大航海時代の戦国日本 - 戦国時代の大砲と資源交易 -」（島根県大田市）、④「大航海時代と長崎」（長崎市）と回を重ね、今回、「大航海時代と鹿児島」を日本の貿易拠点の一つである鹿児島にて開催したい。

鹿児島は大航海時代の日本における重要拠点の一つであった。中国のジャンク船に乗ったポルトガル人らが種子島に漂着し鉄砲がはじめて日本に伝えられた。フランシスコ・ザビエルはマラッカで出会った鹿児島出身のアンジローの案内で鹿児島から日本に入った。博多・豊後府内とともに大航海時代の日本の貿易拠点として鹿児島地方を抜きに歴史は語れない。鹿児島地方は、古くから南島、琉球、そして、中国南部、東南アジアへとつながる貿易拠点であり、ここをめぐるは、島津氏、大友氏、種子島氏などの諸勢力がこの権益をめぐる鎬を削ってきた。今回は、特に大航海時代を基軸に鹿児島という地域的特性に焦点を当て日本、世界における位置づけを検討してみたい。

受付		(10:00 ~)
あいさつ	別府大学文化財研究所長 田中裕介	(10:30 ~ 10:40)
基調講演		
	「大航海時代の鹿児島ー島津氏と大友氏と種子島ー」	(10:40 ~ 11:40)
	別府大学教授 飯沼賢司	
昼食		(11:40 ~ 13:00)
研究発表		
	①万之瀬川下流域の中世遺跡と東アジア	(13:00 ~ 13:30)
	(株)九州文化財研究所 宮下貴浩	
	②尚古集成館所蔵の大砲と鉛同位体比分析	(13:30 ~ 14:00)
	別府大学准教授 上野淳也	
	③大航海時代と焼酎の伝来	(14:00 ~ 14:30)
	別府大学教授 米元俊一	
休憩		(14:30 ~ 14:50)
シンポジウム「大航海時代と鹿児島」		(14:50 ~ 16:00)
	コーディネーター (公財)鹿児島県埋蔵文化財調査センター 中村 和美	
	パネラー 各発表者	

[主催] 別府大学文化財研究所

[共催] 別府大学同窓会・別府大学同窓会鹿児島県支部会

[後援] 鹿児島県教育委員会・鹿児島市教育委員会・尚古集成館・(株)九州文化財研究所

